2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52201	保育の心理学 Developmental Psychology for	井手裕子		共通	2	選択	1前期

科目の概要

人間発達の知識を学ぶことは，保育実践，あるいは親になった時に子どもと関わり育てる基本姿勢を作る。また，各世代の発達課題を知ることにより，職場での人間関係構築にも役立つものである。本授業は，様々な理論家や研究者の知見を紹介しながら，発達心理学の基礎を習得し，養護及び教育の一体性や発達に即した支援援助の基本となる子どもへの理解を深める。特に，乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基本的な知識を習得し，保育における人との相互的関わりや体験，環境の意義を理解することを目的とする。具体的には，生涯発達の視点による各年齢における発達課題や問題を取り上げ，知識を深めていく。それぞれの子どもの定型発達と対峙する発達障害についても，幅広い分野で人と接するときに実践できる知識と支援方法を学修する。

学修内容	到達目標
① 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ，発達を捉える視点（子どもの発達を理解することの意義，環境との関連，発達理論と子ども観・保育観）について理解する。 ② 子どもの発達に関わる心理学の基礎（社会情動的発達，身体的機能と運動機能の発達、認知の発達，言葉の発達と社会性等）を習得し，養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子ども理解を深める。 ③ 乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し，保育における人との相互的関わりや体験，環境の意義を理解する。 ④ 生涯発達と初期経験の重要性（生涯発達と発達援助，胎児期および新生児期の発達，乳幼児期の発達，学童期から青年期の発達，成人期・老年期の発達）との関係を理解する。 ⑤ 発達障害についての知識を得るとともに，保育の現場で発達促進的な関わりを行うための方策を理解する。	① 子どもの発達を理解することの意義，環境との関連，発達観・保育観を理解し説明することができる。 ② 各年齢の発達過程について，理論家の知見が理解でき，具体的な変化や状態を言葉で発表できる。 ③ 乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を獲得できる。また，その学びを支えるための保育としての視点を持ち，人との相互的関わりや体験，環境の意義を説明することができる。 ④ 生涯発達の観点を理解し，各発達段階における問題点の知識を深め，説明することができる。 ⑤ 発達を阻害する問題について考え，予防や支援の方法を理解し，説明することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	調べ学習等の自発的な学習を行うことができる。
	働きかけ力	
	実行力	事例検討，グループ検討等の困難な課題にも粘り強く取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	理論家の知見を学習した上で，そこから問題点を導き，事例につなげていくことができる。
	計画力	
	創造力	事例の解説通りでなく，それを土台とした自らの新しい発想を通して事例を解釈し，支援計画を考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ討議の結果をクラス全体にわかりやすく発表することができる。また，相互に教え合うアクティブ・ラーニング形式の学習方法を実行することができる。
	傾聴力	静かに集中して聞き，話の要点をつかめる。また，発表者の意図をくみ取ることができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	遅刻，無断欠席をせず，授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキスト：青木紀久代編「実践・発達心理学　第2版」（株）みらい
その他：適宜プリントを配布する。
参考文献：幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領（平成30年3月最新版）

他科目との関連、資格との関連

他教科との関連：幼児理解，教育心理学
資格との関連：幼稚園教諭二種免許、保育士

学修上の助言	受講生とのルール
発達心理学は，自分の経験に重ね合わせると理解しやすい。自分の発達を振り返りながら理解することを念頭において授業に参加してほしい。	授業は集中して聞き，疑問がある場合は積極的に質問すること。 ・20分を超えた遅刻は欠席扱いとする。 ・授業態度が悪い場合（居眠り、私語、周囲に迷惑をかける行為等）はマイナス扱いとすることがある。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	70	①	✓			授業で学習した内容の理解度を確認する。 ・研究者の発達理論を理解し，説明することができる。 ・人間発達について各時期の特徴を理解し，説明することができる。 ・定型発達と発達障害の差異を理解し，説明することができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	20	①	✓			予習復習のノートを提出した回数により，評価する。 ・10回以上ー20点　・9回－18点　・8回－16点 ・7回－14点 ・6回－12点 ・5回ー10点 ・4回－8点 ・3回ー6点 ・2回－4点 ・1回ー2点
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）調べ学習等の自発的な学習に主体的に取り組む。 （実行力）事例検討，グループ検討等の困難な課題に粘り強く取り組む。 （課題発見力）各理論を踏まえ，発達の問題点を考え，自分の発達や，事例につなげていくことができる。 （創造力）事例の解説通りでなく，それを土台とした自らの新しい発想を通して事例を解釈し，支援計画を考えることができる。 （発信力）自分の意見をクラス全体にわかりやすく発表できている。相互に教え合うアクティブ・ラーニング形式の学習を実行することができる。 （傾聴力）静かに集中して聞き，要点を理解しようとしている。 （規律性）授業に集中するよう，自分を律することができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S：Aの到達レベルに応用力が加わることができ，修得した社会人基礎力とつなげていくことができる。 A：筆記試験，社会人基礎力（学修態度），レポート，その他（課題）の評価方法において十分な力を発揮できる。	B：筆記試験，社会人基礎力（学修態度）レポート，その他（課題）の3つの評価方法において力を発揮，もしくは2つの評価方法において十分な力を発揮できる。 C：2つの評価方法において力を発揮，もしくは1つの評価方法において十分な力を発揮できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	子どもの発達を理解する意義を学ぶ（1） 発達を学ぶ意義，遺伝・環境説等 本授業に対する到達目標（何を学び取るか）を持つ	講義 演習 グループ討議	心理学と発達心理学の関係や保育者に必要な発達心理学の内容やその領域などを乳児から大人までの様子を全体像として理解できる。 自分の到達目標（何を学びたいか）を記述することができる。	予習：テキストを読む。本授業に対する到達目標を考える。 復習：配布プリントを見直す。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	子どもの発達を理解する意義を学ぶ（2） 発達の考え方：遺伝か環境か，発達の基本的なとらえ方について	前回授業の質疑応答，コメントシートのフィードバックおよび解説 講義 調べ学習，グループ討議	発達のとらえ方やそれぞれの年齢における発達の段階とその課題，原理などについて，配布プリントとテキストで理解し，説明できる。	予習：テキストと事前配布プリントを読む。 復習：授業の内容をまとめておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
3	研究者の発達理論（1） フロイトの欲動の発達論，エリクソンの生涯発達理論について	前回授業の質疑応答，コメントシートのフィードバックおよび解説 講義	精神分析理論の欲動論を理解し，その考え方に基づく発達のしくみを説明できる。 エリクソンの自我発達課題について，発達の様相を想像することができる。	予習：配布プリントを読み，各発達時期の問題点を考えておく 復習：授業内容をまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4	DVD鑑賞「チンパンジーのアイたちが教えてくれたもの」 人間発達とチンパンジーの発達との異同について，ドキュメンタリーを鑑賞しながら考えてみる。	前回授業の質疑応答，コメントシートのフィードバックおよび解説 視覚教材（DVD）による視聴学習、解説 グループ討議	人間発達とチンパンジーの発達との異同を説明できる。	予習：配布プリントを読み，疑問点等を整理しておく。 復習：授業内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	研究者の発達理論（3） ピアジェの認知発達理論① 認知・思考の発達を学ぶ（保存，同化，調節，シェマ）	前回授業の質疑応答，コメントシートのフィードバックおよび解説 講義 グループ討議	乳幼児期の認知，思考の発達過程について説明することができる。	予習：テキストを読み，疑問点を整理しておく。 復習：授業内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	胎児期，乳幼児の発達 身体・運動の発達を学ぶ（手／移動運動）	前回授業の質疑応答，コメントシートのフィードバックおよび解説 講義	乳幼児の身体の発達とその課題や心理的な変化などについて，テキストや視聴覚教材などで理解を深めることができる。	予習：テキスト，事前配布プリントを読む。 復習：配布プリントを読み直す。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	乳幼児期の発達 乳幼児期の発達の特徴と社会性（対人関係）の発達を学ぶ （視線，愛着，いざこざの対応）	前回授業の質疑応答，コメントシートのフィードバックおよび解説 講義	社会性，特に母子関係を中心とした対人関係の発達を，理論や具体的な発達の様子を説明できる。	予習：テキスト，事前配布プリントを読む。 復習：配布プリントを読み直す。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	乳幼児期の発達 感情と気質の発達を学ぶ 乳幼児期の発達を阻害するものとして：「虐待」の影響を学ぶ （喜怒哀楽の分化）	前回授業の質疑応答，コメントシートのフィードバックおよび解説 講義 視覚教材（DVD）によるモデリング学習とその解説	感情，性格気質特性の発達過程の理解と発達のつまづきなどについて理解でき，説明できる。	予習：テキスト，事前配布プリントを読む。 復習：配布プリントを読み直す。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	乳幼児期の発達 言葉の発達と，発達障害について学ぶ	前回授業の質疑応答，コメントシートのフィードバックおよび解説 講義	乳幼児の言葉の発達と，発達障害の知識が理解でき，説明できる。	予習：テキスト，事前配布プリントを読む。 復習：配布資料を読み直す。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	児童期，青年期（思春期）の発達（1）	前回授業の質疑応答，コメントシートのフィードバックおよび解説 講義	仲間関係構築期である児童期，仲間関係と自分を構築する思春期の発達課題を説明できる。	予習：テキスト，事前配布プリントを読む。 復習：配布資料を読み直す。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	児童期，青年期（思春期）の発達（2） 発達課題における問題について学ぶ（不登校）	講前回授業の質疑応答，コメントシートのフィードバックおよび解説 講義 視覚教材（DVD）によるモデリング学習と解説	学校での不登校の視覚教材を鑑賞し，その感想が記述できる。	予習：事前配布プリントを読む。 復習：配布資料を読み直す。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	児童期，青年期（思春期）の発達（3） 発達課題における問題について学ぶ（いじめ）	前回授業の質疑応答，コメントシートのフィードバックおよび解説 講義 グループ討議	いじめについての学習後，グループ討議を行い，各グループのいじめに対する考えをまとめて発表することができる。	予習：事前配布プリントを読み，問題を考えておく。 復習：配布プリントを読み直す。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	成人期の発達 発達課題と特徴を学ぶ	前回授業の質疑応答，コメントシートのフィードバックおよび解説 講義	成人期の特徴を理解し，発達課題に対する問題を説明できる。	予習：配布プリントを読む。 復習：配布プリントを読み直す。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
14	老年期の発達 発達課題と特徴を学ぶ	前回授業の質疑応答，コメントシートのフィードバックおよび解説 講義	老年期の特徴を理解し，発達課題に対する問題を説明できる。	予習：事前配布プリントを読む。 復習：配布プリントを読み直す。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	まとめ	前回授業の質疑応答，コメントシートのフィードバックおよび解説 グループ討議 質疑応答	生涯発達についてまとめて説明することができる。	予習：今までの講義における疑問，質問を考える。 復習：全体のまとめを行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力